

東京暗渠再生

—暗渠を拡幅する 東京都市再生計画の提案

敷地：東京都内暗渠 用途：環境装置、公共空間 他 面積：未知 構造：木造、鉄筋コンクリート 他 階層：なし

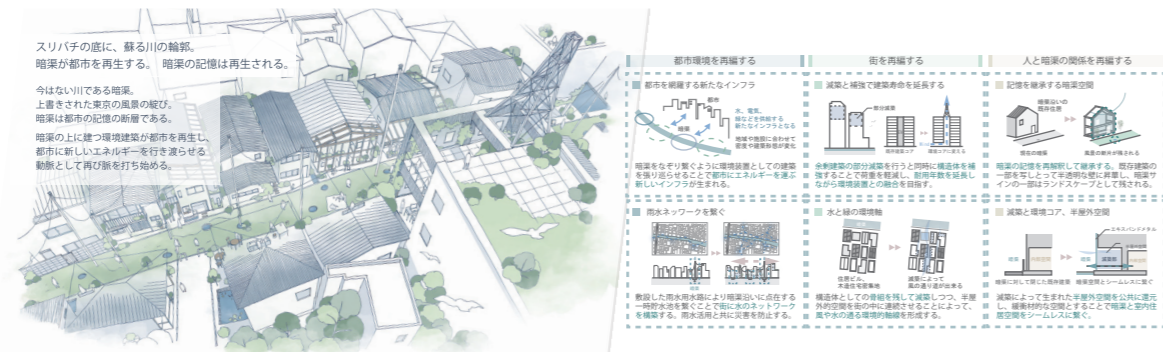
東京という都市の記憶の断層、線状の空白として残されている場所が川だった場所「暗渠」である。かつての川が蘇るように暗渠から芽吹き育つ環境装置は、雨水を運び、空気を浄化しながら街全体へと拡がり、やがて暗渠を都市を再生する動脈へと変えていく。豊かな緑、露出する土と水面。地を覆うコンクリートは剥がされ、失われた都市の環境は回復されていく。そして100年後も、暗渠は都市の記憶を再生する場所であり続ける。

中村美月

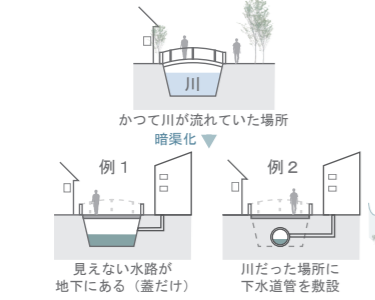
Mitsuki Nakamura
日本大学 理工学部 海洋建築工学科 佐藤研究室



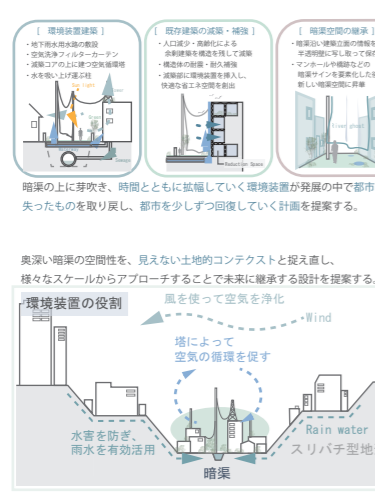
Planning / making 5ヶ月/6週間
Next 日本大学大学院佐藤研究室
Motivation 地球と繋がった建築をつくりたい
Best location 浜松、狭いところ
Influencer 枯川卓也、本田創



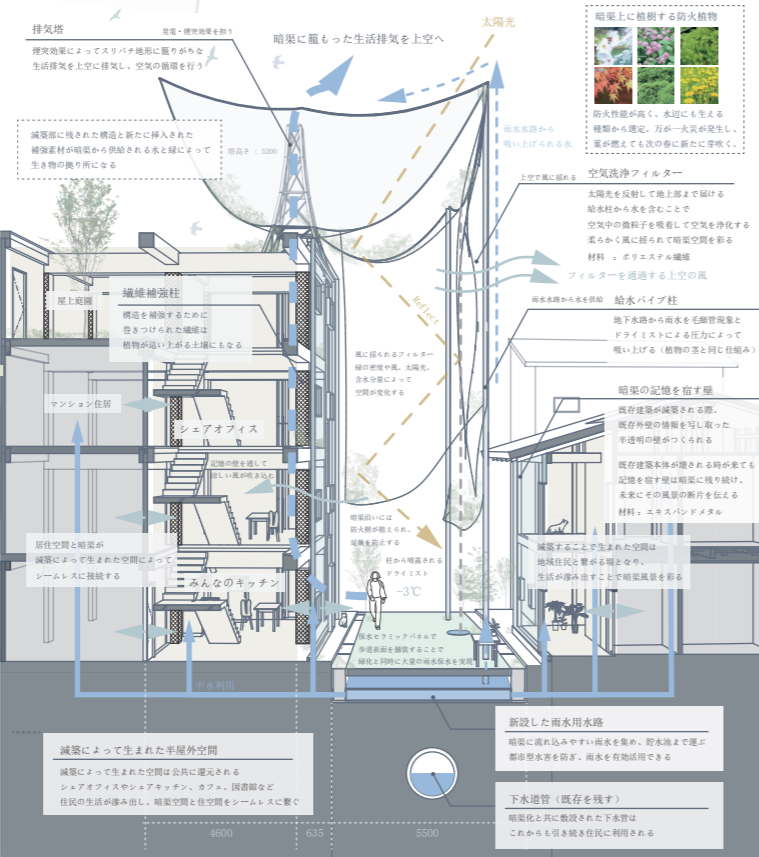
忘れられた川 暗渠空間を読み解く



蘇る川、再び脈を打つ動脈



環境装置部分断面図 推定：2050年頃 既存建築 減築部



日本大学 理工学部 海洋建築工学科

Urban Village Building "S"

—働き開きによる新しい共同体の構想

敷地：神田中高層ビル群 用途：Urban Village 面積：10,000㎡ 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 階層：3～8階

働くとは何だろうか。この提案は、働き閉じを引き起こすオフィスビルの形態をアーバンビレッジ化することで働き開き多様な働き方や関係性を引き出す建築群をつくるものだ。街区1区画のビルを連結しながら減築や開放をしてオフィスビルでの働き方を神田という都市や神田で働く人を大切にしながら、働く働き方に变化し、オフィスビルはそれを許容する器に変化させる。

宮澤哲平

Teppei Miyazawa
法政大学 デザイン工学部建築学科北山研究室



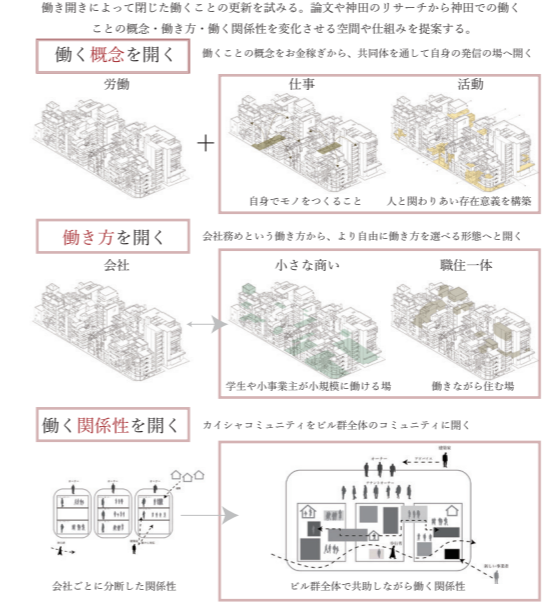
Planning / making 半年/3ヶ月
Next 東京工業大学大学院齋尾研究室
Motivation 建築によって概念や生活を更新させたい
Best location inbetween
Influencer 北山恒、中川エリカ、山道拓人



1. 働くとは 2. 社会背景



3. 提案：働き開き



4. 建築的操作：アーバンビレッジ化

